

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
		R8年 2月 20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		支援内容によって部屋の使い分けを行っています。また、広いスペースにはマットを敷いており、体を動かす際の安全対策をしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準は満たしており、現在常勤職員6名と非常勤1名の計7名で支援を行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		室内は、バリアフリーになっており必要に応じてエレベーターを使用することができます。	特性に応じて、スケジュールを絵カード化するなどより一層子どもの特性に合わせた支援の準備を整えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		支援開始前には、清掃が行き届いた状態で子どもたちを迎えています。	清掃担当が固定化されがちであるため、様々な目で清掃の確認ができるように再度清掃箇所リスト化や職員全体で整理整頓の意識を持てるように見直しをしていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			現在児童発達支援の利用児が1名であるため、基本的に個別対応となっています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		始業時・昼食時や終業時にその日に利用の子どもの目標設定や振り返りを行っています。	業務改善に向けて、職員が同じ認識で取り組めるように書式の導入を検討していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		全員で内容の周知と改善に向けての話し合いをしています。今後の業務改善に役立てていきたいと考えています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員が同じ場に集まり、意見交換ができる環境づくりをしているので、毎日盛んに意見交換が行われています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		ハッピーテラス本部のみの評価となり、第3者機関の評価はありません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間で研修計画を立てたうえで実施を行っています。本部研修や事業所内で行う研修もあり、充実して学べる環境があります。	今後も外部研修にも積極的に参加していきたいと考えています。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		5領域に沿ってプログラムを作成し、ハッピーテラスのホームページにて公表をしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		日頃から子どもの課題の共有や検討を事業所職員で行うとともに、今必要なことは何か、ニーズは何なのかを考えたうえで計画に反映しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画の原案を基に個別支援会議を開き、支援に係る職員から広く意見が集められる体制を取っています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		作成した計画は職員へ周知し、全員が共通の理解の元で支援を行うようになっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		ハッピーテラス独自のアセスメントツールを使って定期的にアセスメントを取っています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			地域に根差した事業所となれるよう、地域資源を活用をしながら地域の方とこれまで以上に連携がとれるようにしていきたいと考えています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		その日のメインとなる指導員が立案をし、他の職員へ共有し意見を求めて日々のプログラムの修正を行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		1年を通して5領域に沿ったプログラムを提供できるように計画をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			現状、児童発達支援の利用児が1名のため個別対応となっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		スムーズに打ち合わせが行なわれるように、“目的”“支援内容”“準備物”“補助職員の動き”など事前に決めてある項目別に話し合いを進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の子どもの様子を共有し、次の支援へ活かせるよう毎回職員間で話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援記録は、活動内容を“目的”“5領域”“内容”に分けて記録をとるようにしており、長期的に振り返りをしたときに内容が明確化できるように工夫しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		計画変更前には事業所に来所していただくことをお願いしています。それ以外にも定期的な評価を行い、保護者の方へご報告しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達管理責任者が、指導員と情報共有をしたうえで参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		送迎時に保育園の先生と情報共有を行う等、連携をしています。今後も密に連携がとれる体制をとっていきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		相談支援専門員さんを通してのやりとりが主になっています。保育所等との情報共有等は保護者の同意の下、必要に応じて連携が図れるように努めて参ります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	今年度該当する児童がいないため、必要に応じて保護者の同意の下移行先との情報共有に努めてまいります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		地域の児童発達支援センターとの情報共有は細やかに行うように心掛けています。スーパーバイズについては、本部の助言や研修を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		現状、地域の中で他の子どもと交流する機会がないため、今後積極的に交流する機会が持てるよう計画をしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		その日の子どもの様子を詳しく送迎時に伝達するように心掛けています。また、日頃と違った様子がある際には電話連絡を行う等細やかな配慮を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			保護者の方に参加していただける研修を開催しましたが、より多くの方に参加していただけるよう、早い段階で周知ができるよう計画しています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時には、丁寧な説明を心掛けています。また、事業所玄関に掲示していつでも閲覧できるようにしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		契約時や計画の見直しの際には、面談を依頼して計画の評価をお伝えするとともに、今後のニーズの把握に努めています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		計画説明時には、連絡調整をしてお時間をいただき、計画の説明をしています。そのうえで同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		随時、お悩み等のご相談をいただいた場合には個別にお話しする機会を設けさせていただいています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		今後、保護者やきょうだい同士の交流の機会が持てるように検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		契約時に周知、事業所玄関に相談先の掲示をしています。申し入れがあった際には、迅速かつ柔軟な対応を心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、ハッピーテラス3事業所合同の通信「ハッピー通信」を発行しています。当事業所の活動について保護者の方や地域の方に広く周知する機会となるよう今後も発信してまいります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の管理は鍵付き書庫で行っており、個人の計画や記録はシステム上事業所からの持ち出しができない仕組みになっています。今後も様々な角度から個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		子どもの特性に応じて情報伝達の仕方を工夫しており、わかりやすい情報伝達に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	今年度は、放デイの活動で夏祭りやハロウィンの行事に地域の方を招待したことをきっかけに、その後継続的に交流をさせていただく機会もいただきました。今後も地域に根差した事業所となるよう努めてまいります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを作成したうえで、それに伴う訓練や研修を計画的に実施しています。また、実施した際には書面に保護者の方へ周知を行っています。今後、周知の方法についてはメールで行うことも検討します。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		マニュアルを作成したうえで、それに伴う訓練や研修を計画的に実施しています。また、実施した際には書面に保護者の方へ周知を行っています。今後、周知の方法についてはメールで行うことも検討します。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に医療情報の確認をとり、適切に対応が出来るよう職員間で周知しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	現在該当者はいませんが、契約時にアレルギーの有無を確認しています。また、活動の一環でクッキングを行う際には、その都度保護者の方への確認を行って対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		計画の作成をし、計画的に訓練と研修の実施をしています。その日にご利用の子どもの特性を踏まえ職員の持ち場を決定し、安全に支援が行なえるよう工夫しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時に安全計画について周知し、それに伴う訓練や研修を実施しています。報告については現在書面にて行っていますが、今後はメールで行うことも検討します。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが発生した際には保護者の方へ速やかに周知し、今後の対策を含めてお話ししています。また、職員にもその日のうちに必ず周知し、再発防止に向けて話し合っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		身体拘束を行う際には、必ず保護者同意の下で計画に記載を行っています。また、実施した際には支援日誌への記録をしています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束を行う際には、必ず保護者同意の下で計画に記載を行っています。また、実施した際には支援日誌への記録をしています。		